

市町村合併に関する 住民アンケート結果

平成20年3月

秋田県総務企画部市町村課

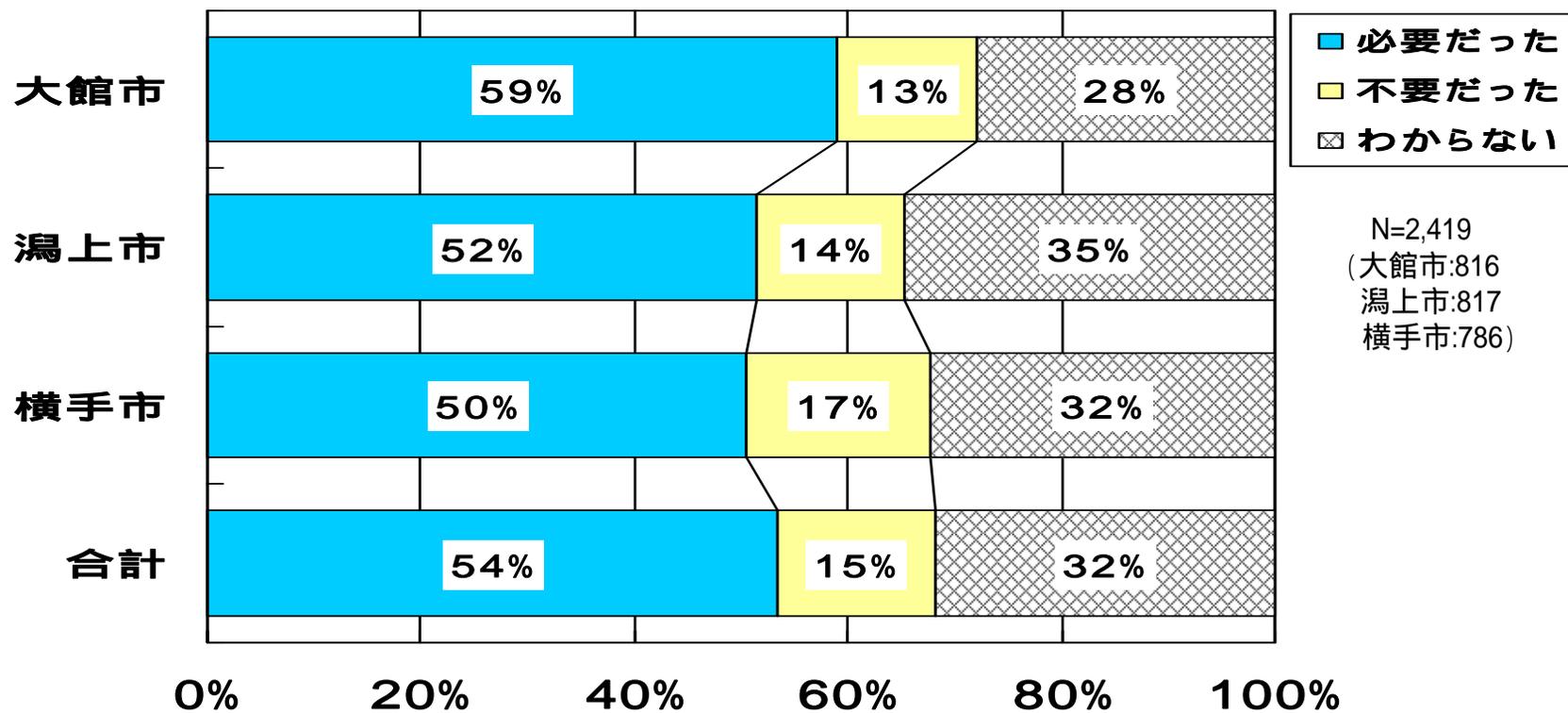
実施状況

合併の形態がそれぞれ特徴的な3市(大規模新設合併の横手市、新設合併新市の潟上市、編入合併の大館市)において、20歳以上の住民(大館市は18歳以上)を対象にアンケートを実施した。なお、アンケートは、県から委託を受けた3市が直営で実施した。

市町村名	回収期間	回収率	抽出方法	調査方法
大館市	H19. 6.25 ~ H19. 7.31	30.17% (875 / 2,900)	住民基本台帳から 無作為抽出 (男女別・年代別・ 地域別割合を考慮)	郵送による 配布・回答
潟上市	H19. 7.11 ~ H19. 7.31	40.95% (819 / 2,000)		
横手市	H19.12.21 ~ H20. 1.21	40.15% (803 / 2,000)		
合 計		36.19% (2,497 / 6,900)		

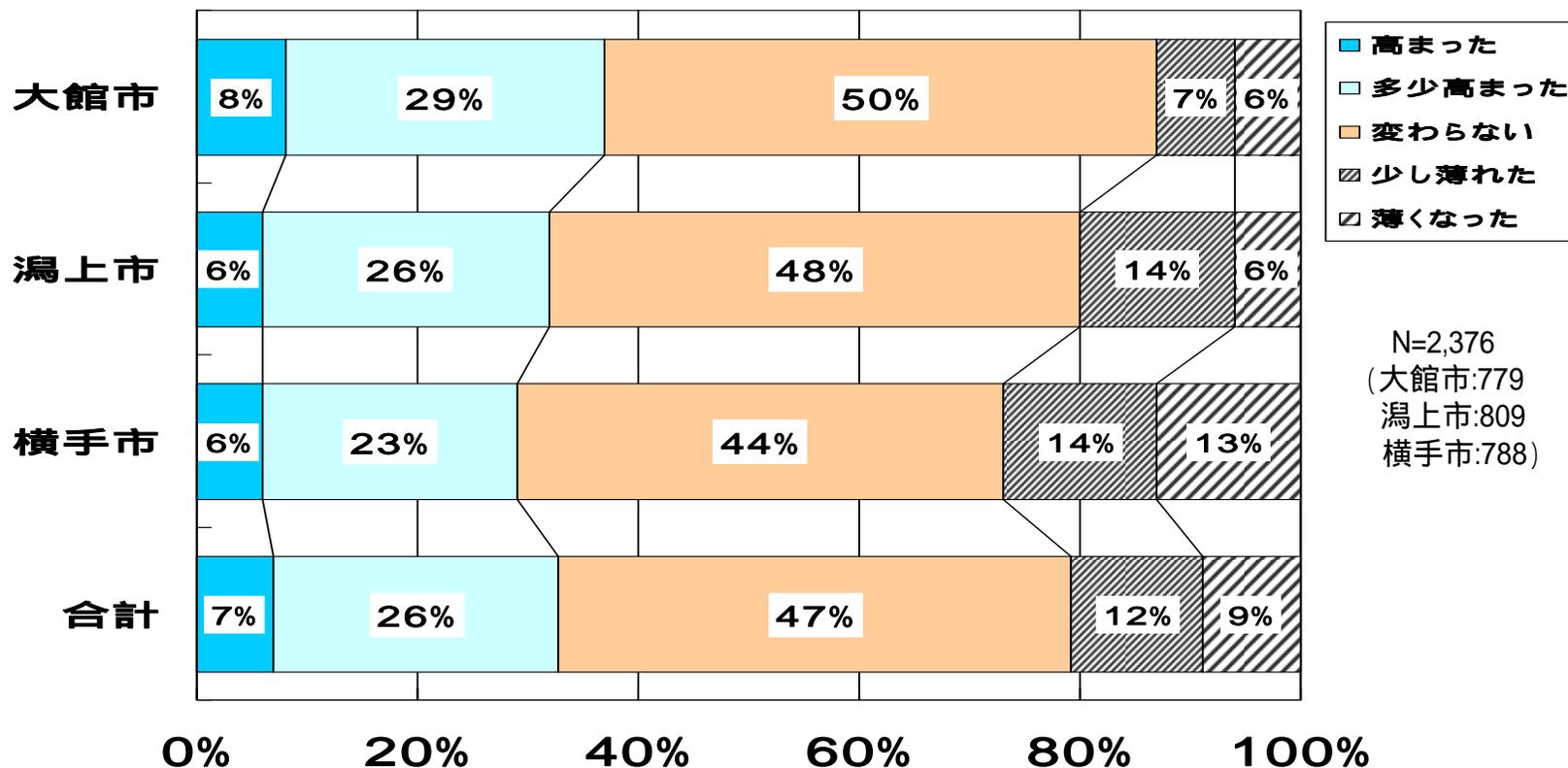
1 市町村合併の必要性

- 将来を見据えて、市町村合併が必要であったかについて、全体としては「必要であった」が54%、「不要であった」が15%、「わからない」が32%となっている。



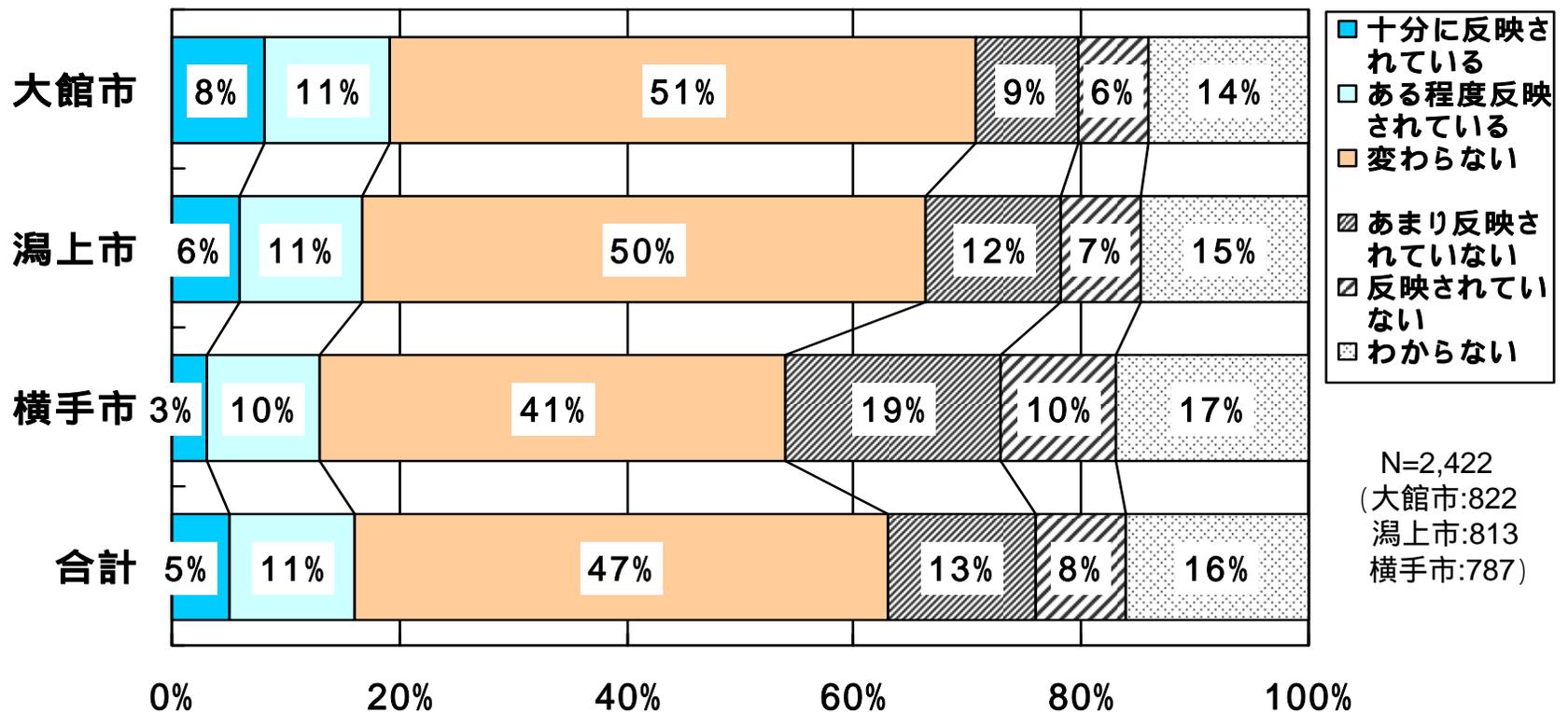
2 市政への関心

- 合併前に比べて市政への関心がどうなったかについて、全体としては「変わらない」が47%と最も多くなっており、3市とも「高まった(33%)」が「薄くなった(21%)」を上回っている。



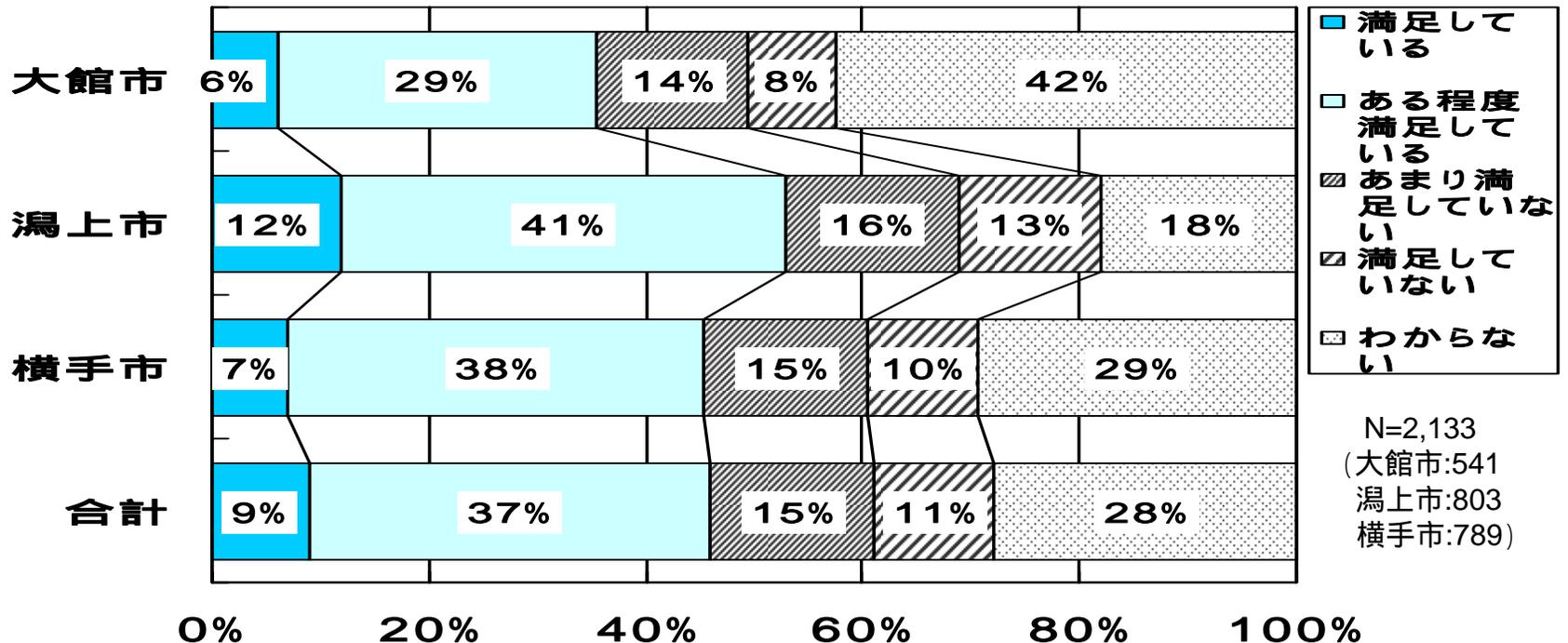
3 地域の声の行政への反映

- 合併により、地域の声が行政に反映されにくくなるという懸念については、全体として「合併前と変わらない」、「反映されている」が合わせて63%、「反映されていない」が21%となっている。



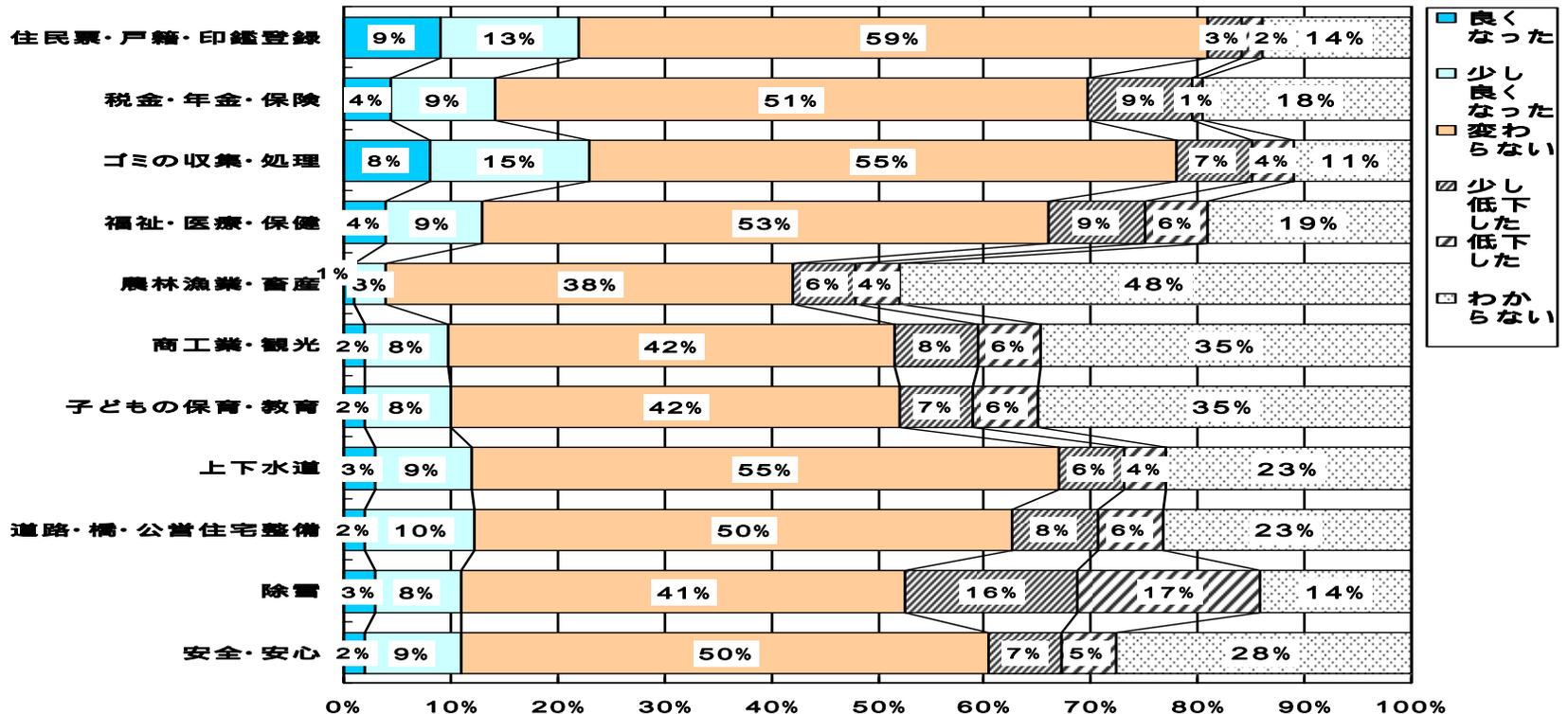
4 分庁・総合支所

- 本庁以外の旧役場に、本庁組織を分散して配置したり、総合支所として複数の課を設置していることについて、全体としては「満足している」が46%、「満足していない」が26%となっている。



5 各種行政サービス

- 全体として「変わらない」が多く、特に 住民票・戸籍・印鑑登録、 ゴミの収集・処理は「良くなった」、「変わらない」の割合が高くなっているが、除雪は、他のサービスに比べ「良くなった」、「変わらない」の割合が低くなっている。
- 農林漁業・畜産、 商工業・観光、 子どもの保育・教育については、サービスの直接の受益者が特定されるため、「わからない」の割合が高くなっていると考えられる。



6 重点施策

- 今後望まれる重点施策について、全体としては、「行財政基盤の強化」が34%、「国・県からの権限移譲の促進」が29%、「均衡ある発展」が11%となっている。

